

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	応用生態工学会 第2回北信越事例発表会	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業		事業区分	技術開発、研究開発	

1. 事業目的

応用生態工学会は、河川・海岸・農地・森林・都市などあらゆるフィールドを対象とし、研究者・現場技術者・コンサルタント・市民活動を行っている人たちなど、様々な活動内容と立場の人が参加して、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」を共通の目標に、基礎的研究・応用的研究・実践的活動の成果を発表し、議論し、系統立て、新しい理論・知識・技術体系を発展・展開させるための活動を行っている。

本事業は、応用生態に関わる事例発表等の機会が地方では少ないことから、風土が類似し水系を共有する北信越5県を対象とし、実務技術者・若手研究者の登竜門・研鑽の場として、また現場に適用するための知見獲得の場を提供することを目的に開催している。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

応用生態工学会は1997年、生態学と土木工学の関係者が共同で設立。学会では毎年9月に全国大会を実施しているが、東京など遠隔地での開催のため、一昨年より北信越地区で発表・参加できる会を実施しており、今回が2回目。

今回は、事業の執行や土地利用との関係から、一般市民との応用生態的な知見の共有は社会的な合意形成や効果的な保全策の実現に重要であると考え、一般の土木技術者や市民の関心を高めるため、広く一般市民の参加を期待し実施した。

研究者や行政担当者、建設コンサルタントなど官民からの参加があり、9例の報告があった。

2. 事業実施体制

主催: 応用生態工学会
 協賛: (一社)北陸地域づくり協会、北陸技術士懇談会
 後援: 国土交通省北陸地方整備局、農林水産省北陸農政局、富山県、富山県立大学、富山県内水面漁業協同組合連合会、(公社)日本技術士会北陸本部、(公社)地盤工学会北陸支部、(一社)富山県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(一社)富山県測量設計業協会、富山県ビオトープ研究会、北日本新聞社、富山新聞社

3. 事業実施概要

日時: 平成26年11月14日(金) 9:30~17:10
 場所: 富山県立大学 大講義室
 プログラム:
 ・一般口頭発表 4編
 ・審査対象口頭発表 5編
 ・基調講演『“応用生態工学ならではの”の研究や事業の必要性と方向』
 講師: 竹門 康弘(京都大学防災研究所教授)
 ・ポスターセッション
 参加費: 会員区分に応じて徴収
 参加実績: 120名
 * CPD及びCPDS認定プログラム



口頭発表



ポスターセッション



受賞発表